

20160823_戦略経営研究会_医療×IT 研究会_議事録

日 時：2016年8月23日（火）19:00－21:00

場 所：東京／竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：HealthTech のいまとこれから ～メディラインによるシンプルコミュニケーション～

発表者：峯啓真さん（株式会社シェアメディカル代表取締役 CEO / Architect）

参加者：参加者 10人（発表者を含まない）

（会社経営、会社員、財務コンサルタント、医師、NPO 法人理事長、
行政書士、司法書士など）

目 次：

1. メディラインとは？
2. なぜ、シンプルでなければならないのか？
3. LINE や Facebook ではダメなのか？
4. まとめ

発 表：

1. メディラインとは？

「医療者用の「LINE」です」と説明しています。この一言で年配の医療者も含めて9割が理解してくれます。メディラインのシリーズには、アプリ、PC、そして、サーバーもあります。いまさらサーバーという感じもありますが、医療のコンプライアンス的に外部サーバーやクラウドへの抵抗感があるためです。医局内で使いたいというニーズもあります。サーバーは医師には与信力があることからリース向きです。

メディラインの強みはシンプルなチャットツールであることです。採用事例ですが、当初、クリニックや訪問診療を予想していましたが、大学病院など大規模病院が多くなっています。セキュリティを保ちつつ、臨床で使いやすいものになっています。また、海外でも OEM で採用されています。

2. なぜ、シンプルでなければならないのか？

医師とコメディカル（看護師など）が使用することになります。IT リテラシーの差がかなりあるわけですが、関係者のいずれもが活用できる必要があります。ただし、活用については、月間で、毎日で、どれだけ使われているかの指標が必要になります。現在、この指標を得るための仕組みを検討しています。

機能ではなく顧客経験価値で選ぶ時代です。メディラインは、シンプルであり、使いながら使い方を自らカスタマイズできるようになっています。たとえば、お客様によって、業務ごと、患者ごとでグループを作成しています。繰り返しますが、シンプルなのでカスタマイズが簡単です。ここが大事です。そうでないと、高価なサービスになっていってしまいます。誰でも使えるということと、使い方を提案しています。また、コミュニケーションがフラットになる効用もあります。採用されている現場を見て、確信しました。たとえば、看護師は医師に声をかけづらいということが少なからずあるわけですが、チャットだとフラットなコミュニケーションをとることができます。「コメディカルから意見が出るようになった」という医師の感想をいただいています。

3. LINE や Facebook ではダメなのか？

LINE や Facebook の場合、退職した時に、それまでのやり取りを回収できるでしょうか。プライベートのアカウントであれば、医療情報の持ち出しになります。また、LINE や Facebook であれば、外部のシステムにコピーしていることになります。これは、コンプライアンス違反といえるでしょう。医師やコメディカルには、プライベートのアカウントを仕事で利用することの抵抗感もあります。

医療で求められる安全性とはどのようなものでしょうか。感情的な安全性も求められています。医療は規制産業なので、医師は所轄官庁が了解しているかということに心配します。医師会もこの点を心配します。医療者のベンチャーが増えていますが、落とし穴があります。こういったベンチャーのCTOは、海外のベンダー、あるいはアマゾンのサーバーを使ってしまいます。医療業界における感情的な安全性を理解していません。HealthTech のプレーヤーとしては、①医師・薬剤師等、②患者・元患者、③IT がいます。前二者は思い先行です。落とし穴にはまりやすいです。

また、暗号化が必要です（メディラインは高度の暗号化がされています。ただし、医師やコメディカルにはあまり響かないので、現在、あまり訴求していません）。医療情報は最上位の機微情報だからです。厚労省、経産省、総務省による「3省4ガイドライン」も出ています。これは、患者情報をクラウド上に保存する際のガイドラインです。暗号化して保存する必要があります。このガイドラインからすると、AWS、マイクロソフト/アジュールはグリーゾーンかもしれません。なお、メディラインは「ASE-256bit 暗号」を使用しています。このため、米国商務省輸出規制製品（暗号製品）に登録されています。

4. まとめ

- ①医療向けアプリやサービスは、セキュリティ重視が必要です。この理解がないとブレークスルーしません。
- ②セキュリティは技術的な面だけでなく、上記のようなガイドライン、法律、論理面、さらに感情面も考慮する必要があります。
- ③HealthTech におけるミスは、患者とその家族の人生に多大な影響を与えることを理解する必要があります。

以上